

お疲れ様です。

施設部会さんとの連携の議題の前に施設部会さんがわかからのアンケートを頂いた物から抽出して作文します。

当日の連携の部会の話題としたいので当日印刷して持参してください。

文責 稲垣光晴

情報の提供について

- 主治医意見書を最低限の医療情報を捉えている。(利用者さんに余計な負担を強いることのないように) 初回利用時は無論、更新時についても情報が欲しい。
- 利用の目的、経緯を教えて欲しい。
- 作成された施設サービス計画書を居宅支援事業所は何の目的で使用するのか？法根拠は無い。
- 居宅サービス計画書は頂くが、連動して施設サービス計画書を作成します。しかしながら、内容が乏しく施設サービス計画書の作成に至らないケースがあります。
- 負担限度額についてはケアマネから十分に情報提供して欲しい。
- 感染症についての情報を教えてもらえないケースあり。他の利用者さんも守る責任があるので事前にご存知であれば教えて欲しい。
- ショート利用中に急変。主治医に看護師から連絡を取るも主治医より「そんなに長期入所しているとは知らなかった」と。良い連携方法はあるでしょうか？
- 本当に緊急時のショート利用の場合があればこそ、より詳細な情報提供が欲しい。

現場との連携について

- いつも先ずケアマネに連絡が欲しいと言われているが、ケアマネに連絡しようにも連絡の付かない場合がある。その場合の対応に困る。(土日祝日)
- ショートに預けたら預けっぱなし、ショートはゴール？その先の現場がどんな様子にあるのかモニタリングがてら現場に来て直接担当者に聞いて欲しい。紙のみを起こせばいいということではないこともあるのでは？
- 「緊急」とは「何らかの事由で介護者が不在となる」場合。若しくは天災などやむを得ない場合、生命の危険性が脅かされている状態が想定される。ケアマネさんの緊急の度合いが違う。
- 利用者さんが徘徊がひどく、施設でも対応に苦慮している。ケアマネさんに相談すると「それは施設の責任で」と。他の利用者さんも守る立場もある、なんとか利用者さんの情報を一番持っているケアマネさんに助けて欲しい。今後、そのケアマネさんとの連携をどうしていいのか悩みます。

その他、ケアマネさんへの要望

- 予約の乱れ打ちは止めて欲しい。キャンセルを承る側の立場も理解してほしい。
- まだ面接も終わっていないのに先の予約。無理です、と、お願いしてもご理解いただけない...
- グループホームもショート同様に詳細な情報提供がほしい。
- 問い合わせの際に、単に利用料金の違いのみが判断基準でなく、サービス内容を重視して施設の選定をして欲しい。
- 利用者にとっては色々な事業所を利用することが本当に良い支援なのでしょうか？送迎に向かいながら混乱されている利用者さんを見ていて疑問に思います。
- 苦情や事故があった場合は、あくまで中立な立場で仲裁に入ってほしい。利用者様家族に加勢して事業所を一方的に攻撃しないで...。もちろん落ち度があれば別です。
- 利用者中心ではなく家族の希望だけが優先されている。そんな状況で送迎できないケースあり。

以上

一部、耳の痛い話題も多いようですが、施設部会さんも利用者さんのために一生懸命現場で戦っております。その中で、ケアマネができる事、施設の現場の方と一緒にできる事をみんなで考える機会をいただければと思います。